



## ハイレベルな施工を実現する精度と今までにないコストパフォーマンスを実現

歴史的建造物の殆どは木で作られています。補修のしやすさと、室内の調湿や断熱効果など、木の性質が日本の気候・風土に適しているためです。「テックワン」は、この在来軸組工法に精度と頑強さをプラスし、合理的な施工システムを構築することに成功しました。3Sシリーズでは、さらに今までにないコストパフォーマンスも実現しました。



**TL-10**  
 対応梁成：105~150mm



**TL-18**  
 対応梁成：180~210mm

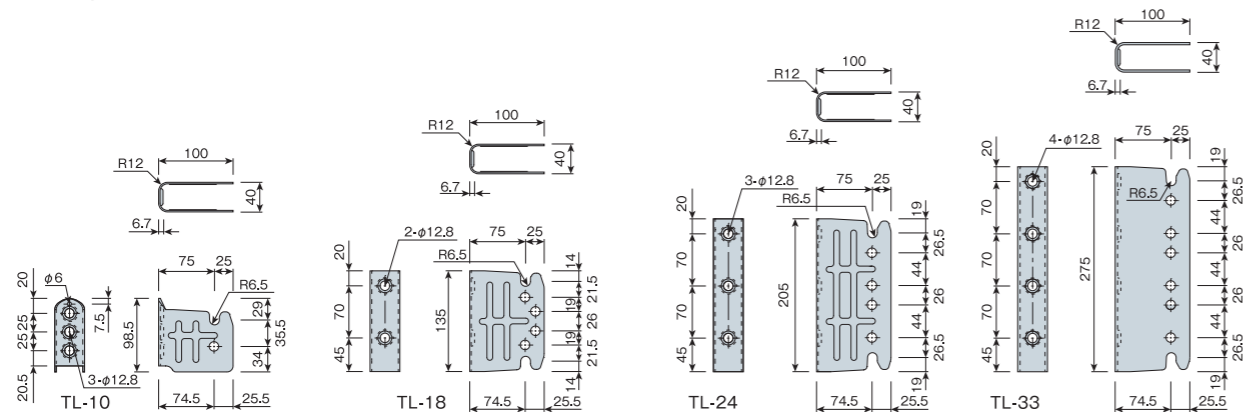


**TL-24**  
 対応梁成：240~300mm



**TL-33**  
 対応梁成：330~420mm

### ■寸法図



### 用途

●構造部材(柱材や横架材など)を接合する際に使用します。

### 特長

- ボルトとドリフトピンによる単純な組み合わせで、強い架構が実現可能です。
- テックワンP3と同じ加工寸法、施工方法で軽量化、低コスト化が可能です。
- 梁成330以上は、TH-33と同じ金具を運用することで高い耐力を保持しています。

### 施工方法

- ①ボルトにて柱材や横架材に金具を取り付けます。
  - ②横架材の仕口には予め所定の位置にドリフトピンを打ち込んでおきます。(先行打ちピン)※1
  - ③横架材を落とし込んだ後、残りのドリフトピンを打ち込んで固定します。(後打ちピン)
- ※1 先行ピンを正しく打ち込む事により、横架材を落とし込む際の落下防止になります。

サイズ	TL-10: 100×40×98.5mm	TL-18: 100×40×135mm	TL-24: 100×40×205mm	TL-33: 100×40×275mm
表面処理	新溶融めっき			
梱包	TL-10: 30個/ケース	TL-18: 20個/ケース	TL-24: 12個/ケース	TL-33: 10個/ケース

### 使用接合具

	TL-10	TL-18	TL-24	TL-33
柱側	M12 中ボルト(別売品)	2本	3本	4本
横架材側	ドリフトピン(別売品)	2本	3本	4本

### 耐力 柱-梁

	TL-10	TL-18	TL-24	TL-33
短期基準せん断耐力 (kN)	7.4	16.9	26.8	41.5
短期基準(逆)せん断耐力 (kN)	7.9	15.9	21.7	41.7
短期基準引張耐力 (kN)	11.7	21.4	27.2	40.3
存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN)	2.2	4.0	5.1	7.6

### 耐力 梁-梁

	TL-10	TL-18	TL-24	TL-33
短期基準せん断耐力 (kN)	6.8	15.2	24.7	39.4
短期基準(逆)せん断耐力 (kN)	6.8	14.7	22.8	32.4
短期基準引張耐力 (kN)	11.5	20.2	32.0	57.6
存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN)	2.1	3.8	6.0	10.8

表中の数値は、ハウスプラス確認検査(株)試験データ等による。

※試験時の使用木材

柱材/寸法: 105×105 樹種: スプルース同一等級構造用集成材 E95-F315

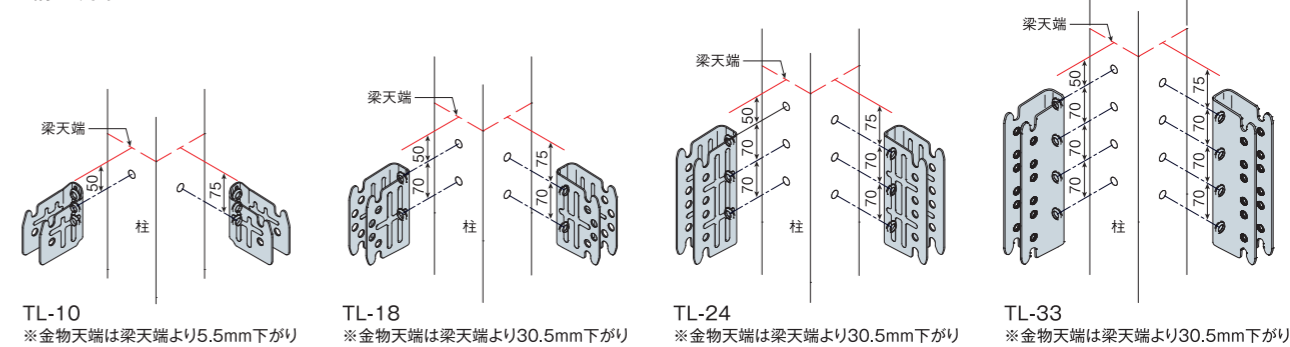
横架材/寸法: 105×105~330 樹種: スプルース対称異等級構造用集成材 E105-F300

荷重ケースにおける基準耐力の算出について

短期基準耐力: 1.0とした場合、中長期: 0.8、中長期: 0.715、長期: 0.55

出典(一社)日本建築学会木質構造設計規準・同解説—許容応力度・許容耐力設計法—

### ■納まり図



**TL-10**  
 ※金物天端は梁天端より5.5mm下がり

**TL-18**  
 ※金物天端は梁天端より30.5mm下がり

**TL-24**  
 ※金物天端は梁天端より30.5mm下がり

**TL-33**  
 ※金物天端は梁天端より30.5mm下がり